

# 留意事項

## 問題1

- ① 試験は着席した状態で行うこと。

## 問3

- ① 抵抗測定は、アナログ式サーキット・テスタを使用し、チェック・ボックスに設けた測定端子で行うこと。
- ② チェック・ボックスの番号と、回路図内の番号は、同じです。
- ③ 測定端子での点検は、抵抗の測定のみで行い、電圧の測定は行わないこと。
- ④ 《VVTのOCVの基準抵抗値》

測定端子4～5間で測定：5.0Ω～9.0Ω

## 問5

- ① ダイアグノーシス・コードを消去後、**アクティブテストを実行する場合も**試験委員に申し出ること。
- ② 「VVT制御」のアクティブテストを実行する画面には**177**のモニタ項目が表示されている。

[OCV 駆動 Duty 比バンク 1]は、上から 115 番目以降に表示される。

[VVT 変位角バンク 1] は、上から 116 番目以降に表示される。

### 《VVT 制御のアクティブテストの実行内容、基準値及びエンジンの症状》

VVT 制御 の設定値	OCV の 状態	OCV 駆動 Duty 比 バンク 1 (上から 115 番目以降)	VVT 変位角 バンク 1 (上から 116 番目以降)	症状
ON	最進角	100.0%	30.0～ 70.0° FR	アイドル 不調
OFF	最遅角	0.0%	0.0～ 10.0° FR	ほとんど 変化なし

# 留意事項

## 問題2

- ① 問題2に移る場合は試験委員に申し出ること。
- ② 「READY」の状態とは、ハイブリッド・システムが起動している状態で、補機バッテリー電圧が14V程度となります。
- ③ この車両は、試験中にエンジンが始動する場合があります。
- ④ パワー・ウインドウのスイッチの操作は自分で行うこと。

## 問2

- ① 電圧測定は、デジタル式サーキット・テスタを使用し、チェック・ボックスに設けた測定端子で行うこと。
- ② チェック・ボックスの番号と、回路図内の番号は、同じです。
- ③ 測定端子での点検は、電圧の測定のみで行い、抵抗の測定は行わないこと。
- ④ **《正常時のLIN通信線の電圧値》**
  - ・LIN通信線の電圧波形を、デジタル式サーキット・テスタを用いて測定したときの電圧値
  - ・各測定端子とボデー・アース（測定端子60）間で測定

	測定端子番号	スイッチの位置	測定値	スイッチの位置	測定値
測定電圧	31	UP	7.0~10.0V	AUTO UP	7.0~10.0V
		DOWN	7.0~10.0V	AUTO DOWN	7.0~10.0V
	32	UP	7.0~10.0V	AUTO UP	7.0~10.0V
		DOWN	7.0~10.0V	AUTO DOWN	7.0~10.0V

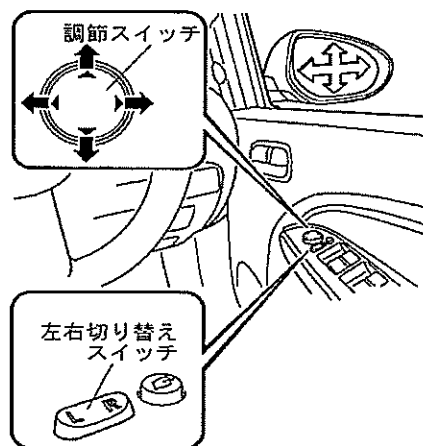
# 留意事項

## 問題3

- ① 試験は着席した状態で行うこと。
- ② ドア・ミラーの左右切り替えスイッチは、R側にしてあるので触らないこと。
- ③ 格納機能は停止させています。

## 問1

- ① ドア・ミラー調節スイッチと鏡面が傾く方向（正常時）



## 問2

- ① 電圧測定は、チェック・ボックスに設けた測定端子で行うこと。
- ② チェック・ボックスの番号と、回路図内の番号は、同じです。
- ③ 測定端子での点検は、電圧の測定のみで行い、抵抗の測定は行わないこと。

# 留意事項

## 問題4

① 試験は着席した状態で行うこと。

### 問1, 2

① オシロスコープは設定済み「V/DIVは2V, TIME/DIVは1ms, プローブは×1」です。変更は行わないこと。

### ② 《車輪速センサの基準電圧波形》

- ・車速：50km/h 一定時
- ・各測定端子とボデー・アース（測定端子60）間で測定

系 統	測定端子番号	オシロスコープで計測した基準電圧波形
前右	31, 39	
前左	33, 41	
後右	35, 43	
後左	37, 45	
前右	32, 40	
前左	34, 42	
後右	36, 44	
後左	38, 46	

# 留意事項

## 問題4

### 問3 参考

《増圧時の保持ソレノイド・バルブと減圧ソレノイド・バルブの状態》

